

# 伸びる。ともに伸びる

## 自分で決める

◎成果目標 ◆指標	主な教育活動
◎ 問いや願いをもって学習する。 ◆ 授業の「振り返り」で、次に学習したいこと、生活に生かしたいことを書く(話す)ことができる児童が80%以上	・授業や単元の終末における「振り返り」の時間の設定 ・家庭学習における自主学習の推奨
◎ 正しいと思うことを自分で判断し、行動する。 ◆ 『正しいと思うことを自分で判断し、行動した』と自己評価する児童が80%以上	・いじめ見逃しゼロ強調月間の取組 ・「安心・安全ルール」をもとにした、正しい判断力の育成
◎ 自分の体力や生活習慣を見つめ、伸ばす項目を決めて、継続的に取り組む。 ◆ 『自分の体力や生活習慣を見つめ、運動したり生活したりできた』と肯定的に自己評価する児童80%以上	・体力づくりチャレンジ旬間の取組(1学期:体力テスト、2学期:持久走、3学期:なわとび) ・がっちりカードを活用した取組

## 人を大切にする

◎成果目標 ◆指標	主な教育活動
◎ 対話を通して考えを深める。 ◆ 『対話による考えの広がりや深まりを感じた』と肯定的に自己評価する児童が80%以上	・授業において、仲間と考えを組み合わせ、よりよい考えをつくる対話場面の設定 ・対話場面におけるタブレット端末やホワイトボード等の活用
◎ 自分や友達の良いところを見付け、違いを認める。 ◆ 『自分や友だちの良いところを見付けることができた』と、肯定的に自己評価する児童が80%以上	・縦割り班活動の実施 ・日々の学習活動や学級活動での自他を認め合う活動 ・生活目標の取組(挨拶、他者理解、自己有用感)
◎ 自他の健康を考えて生活したり、運動したりする。 ◆ 『自他の健康を考えて生活できた』と肯定的に自己評価する児童が80%以上	・自他の健康について考える学習場面の設定 ・手洗いうがいの励行

## 問い続ける

◎成果目標 ◆指標	主な教育活動
◎ 学び方や解決の仕方を工夫する。 ◆ 『自分から問題を解決しようとする気持ちが高まった』と答える児童が80%以上	・生活科や総合的な学習の時間を中心とした問題解決的な学習場面の設定 ・『「対話的な学び」のある授業づくり』を目指した授業の実施
◎ 自己の言動を振り返り、よりよい自分を目指し行動する。 ◆ 『よりよい自分を目指し、行動することができた』と、肯定的に自己評価する児童が80%以上	・自分の生き方を問う道徳授業、人権教育、同和教育の実施 ・よりよい自分を目指すキャリア教育の推進
◎ 自分の体力や生活習慣がよりよくなるよう工夫して生活する。 ◆ 『自分の体力や生活習慣がよりよくなるよう工夫して生活した』と肯定的に自己評価する児童が80%以上	・学習カードやICT機器を活用した授業の実施 ・がっちりカードを活用した取組

## 生活科・総合的な学習の時間を中核とした教科横断的なカリキュラム

### 中学校区、学校と家庭・地域との行動連携～Face To Face～

- 関係機関との連携  
「豊浦地区青少年健全育成協議会」  
「豊浦地区公民館」「民生委員との懇談会」
- 豊浦中学校区保・小・中の連携  
「いじめ見逃しゼロスクール集会」  
「新入生体験入学」
- 家庭・地域との連携  
「たより・HPでの情報提供」「メディアコントロール」  
「見守り隊」「学習支援ボランティア」「後援会による環境整備」「とようらの日 あいさつ運動」



### 【道学共創】ひとが第一、ひとが大事 新発田の教育

～新発田への愛着と誇りをもち、夢や希望に向かって学び続ける子ども～

- 全校体制で育む確かな学力  
学級経営の充実 学ぶ意欲の向上 主体的・対話的で深い学びの実現
- ふるさとへの愛着と誇りを育む「しばたの心継承プロジェクト」
- 生きる力を育む「食とみどりの新発田っ子プラン」
- 人権感覚を高める「人権教育、同和教育」

## 安心できる学習環境の整備

スムーズな学校生活のスタートを目指し、保育園等との連携を生かしたスタートカリキュラムに取り組みます。

互いに聴き合う関係づくりを重視した学級経営を行い、児童と教師、児童相互の信頼関係を築きます。

いじめ・不登校の未然防止と、早期発見・即時対応を図る生徒指導体制を確立します。

人権教育、同和教育、特別支援教育を中核として、一人一人を大切にする教育を推進します。